

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	最上部マントルの構造とモホ面の形成過程の研究～海と陸からのアプローチ～
研究代表者	道林 克禎 (静岡大学・理学領域(地球科学系列)・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、将来的な太平洋におけるモホール（マントル掘削）を先に見据えて、オマーン・オフィオライト（最良の過去の海洋底シソスフェアの化石）と伊豆・マリアナ弧のモホ及びマントルを観察・分析し、それらの構造及び成因を解明しようとするものである。研究組織は、実績ある中堅で構成されており強力である。両地域ともよく調査されており、準備状況も良く、研究成果が十分に期待される。本研究の成果は将来のモホールに向けて必須の情報を提供するであろう。社会的インパクトも大きく、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>